

少子高齢化・人口減少が進む中、社会福祉事業の担い手である社会福祉法人の役割は重要であり、今後も事業を継続していく体制を構築していくことが必要です。

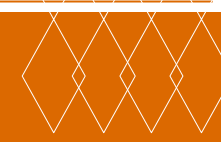
個々の社会福祉法人では解決できない地域の福祉ニーズや経営課題も、法人間の連携・協働により解決が図られるケースもあります。

当シンポジウムでは、社会福祉法人の連携・協働化また社会福祉連携推進法人制度について、そのきっかけや連携先との関係づくりを中心に、取組内容や運営体制といった実態や効果をご紹介します。

皆様のご参加を心よりお待ちしております！

開催概要

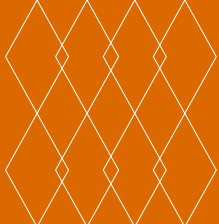
日時	2026年1月23日(金) 14:30～16:30(14:00受付開始) ※対面参加者のみ イベント終了後、参加者同士の交流や登壇者への質問等の時間を予定 (参加自由)
会場	ハイブリッド開催 ・ PwCコンサルティング合同会社 会議室(東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル2階) ・ Zoomでの同時配信も予定しています。
アクセス	東京メトロ 東西線・千代田線・半蔵門線・丸ノ内線 都営地下鉄三田線「大手町駅」(C9 出口直結) JR「東京駅」(丸ノ内中央口より徒歩約10分)
対象者	- 社会福祉法人の連携・協働化や社会福祉連携推進法人制度に興味のある社会福祉法人や団体の役員及び職員 - 社会福祉連携推進法人及びその社員法人の役員や職員 - 所轄庁(地方自治体)の職員
定員	(会場参加の場合)80名 ※ 会場参加の場合先着順です。
参加費	無料
お申し込み	MS formsより1月16日(金) までにお申し込みをお願いいたします。 ※ ご参加の方1名ごとにお申し込みをお願いします。 https://forms.office.com/r/qE1YvU9WFy
お問い合わせ	本イベントに関してご不明点がございましたら、以下のアドレスへご連絡をお願いいたします。 厚生労働省 令和7年度社会福祉推進事業「社会福祉連携推進法人制度の活用に関する調査研究」事務局 Email: jp_cons_mhlw_renkeisuishinhoujin-symposium@pwc.com



厚生労働省 令和7年度 社会福祉推進事業

社会福祉連携推進シンポジウム2026

～社会福祉法人の連携・協働に向けて～



プログラム

※プログラム内容、講演者については変更となる場合がございます。予めご了承ください。

時間	セッションタイトル	登壇者
14:30	開会	・PwCコンサルティング合同会社
14:30～14:35	厚生労働省あいさつ	・厚生労働省 社会・援護局福祉基盤課
第1部		
14:35～14:55	調査結果報告： 連携・協働化に取り組む社会福祉法人及び社会福祉連携推進法人に対する調査結果 PwCコンサルティングが本年度実施した、連携・協働化に取り組む社会福祉法人及び社会福祉連携推進法人を対象としてそのきっかけや連携先との関係づくり、体制や運営方法等に関するヒアリング及びアンケート結果について、法人間の連携・協働を検討される方への参考となる情報を提供します。	・PwCコンサルティング合同会社
14:55～15:25	講演： 社会福祉連携推進法人実践者による取組のご紹介 社会福祉連携推進法人の実践者4名の方に、各法人の連携推進法人のきっかけや経緯、取組内容についてご紹介いただきます。	・社会福祉連携推進法人 ありがとう安心サポート協会 ・社会福祉連携推進法人 いーまーる ・社会福祉連携推進法人 となりの ・社会福祉連携推進法人 WTBASE (五十音順)
15:25～15:40	<休憩>	
第2部		
15:40～16:30	社会福祉連携推進法人実践者によるパネルディスカッション 社会福祉連携推進法人の設立経緯や運営にあたり工夫した点や課題等に関する複数のトークテーマを設け、社会福祉連携推進法人の実践者5名の方からお話をいただきます。	・社会福祉連携推進法人 ありがとう安心サポート協会 ・社会福祉連携推進法人 共創福祉ひだ ・社会福祉連携推進法人 となりの ・社会福祉連携推進法人 日の出医療福祉グループ ・社会福祉法人 リガーレ暮らしの架け橋 (五十音順) ファシリテーター ・早稲田大学人間科学学術院教授 松原 由美 様
16:30	閉会	・PwCコンサルティング合同会社
17:30閉場	(対面参加者のみ) 参加者同士の交流や登壇者への質問等(自由参加)	

